

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2024年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年8月15日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年8月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【2号機使用済燃料プールのスキマサージタンクの水位低下について】 当社運転員が、2号機使用済燃料プールのスキマサージタンク(使用済燃料プールが満水であることを確認するためのタンク)水位が低下していることを確認。 その際、2号機使用済燃料プールの水位が低下していないこと、および2号機原子炉建屋地下1階のうち、高圧注水系室の滞留水水位の上昇を確認。 現場確認の結果、2号機原子炉建屋3階の燃料プール冷却浄化系ポンプ室内および熱交換器室内から水が流出していることを確認。 流出した水は、床面の排水口から原子炉隔離時冷却系室の集水ピットを経由して、隣接する高圧注水系室へ流入しており、他のエリアへの拡大はなし。 現在、高圧注水系室の滞留水水位の上昇は停止していることから、水の流出が停止していると判断。 なお、原因調査のため2号機使用済燃料プール冷却ポンプを計画的に停止しているが、2号機使用済燃料プール水の水温については、最大46℃程度になると評価しており、運転上の制限である65℃に到達しないことを確認している。 今後、2号機使用済燃料プールの水位と水温の監視を強化するとともに、冷却をいつでも実施できる状態にした上で、原因の調査および復旧について検討を行う。</p>	G II	8月9日